

2000年

12月号

Stage Up

生涯学習情報誌
ステージ・アップ
通巻 No. 95



写真：「師走の入日」山本かほるさん（多摩川六郷橋付近より）

もくじ

- 2 特集 日本初の民族交流施設「川崎市ふれあい館」
- 4 生涯学習ア・ラ・カルト
- 6 ぐるーぷ BOX／イベントパーク
- 7 いま地域で学校で
- 8 暮らし百景 ステージ・アップ俳壇／まち・ひと・多面体

発行・(財)川崎市生涯学習振興事業団

〒211-0068 川崎市中原区小杉御殿町1-950 中原小学校内
TEL 044(733)5560 / FAX 044(739)0085

特集

日本初の民族交流施設「川崎市ふれあい館」

だれもが力いっぱい生きていくために

日本人と在日外国人が共にいきる地域社会をめざして

「川崎市ふれあい館」は、1988年6月、「日本人と韓国・朝鮮人を主とする在日外国人が、子どもからお年寄りまで、お互いの民族文化を理解し合い、相互のふれあいをすすめる」ことを目的に設立されました。

ふれあい館のような民族の交流施設ができたのは、全国の自治体で初めてのことでした。1969年以来保育園事業などに実績のある社会福祉法人「青丘社」は、82年に在日韓国・朝鮮人の多住地域である川崎区桜本地区に、会館の設立を要望しました。川崎市は、地元関係者とも協議を重ねた結果、地域社会の交流施設として「ふれあい館」をオープンさせました。この12年間で68万人が館を利用しています。

開館式典の折、当時の伊藤三郎市長は、「この建物は共に生きる人間の館。皆さんの手で市民友愛のシンボルとして発展させてほしい」とあいさつ。ふれあい館の運営を委託された「青丘社」の金鴻植（キム・ホンシク）理事長（当時）は、「このカギは両民族の心を開くカギとしたい」と表明しました。

12年目を迎えたふれあい館は開館当時より事業内容も活動範囲も拡大し、施設が小さく感じられるほどです。「地域に根ざした施設」としていつも努力している裴重度（ペ・チュンド）館長にふれあい館の「いま」を伺い、高齢者事業、学校連携事業などの活動を見せていただきました。

地域の声に耳を傾けて



裴 重度 館長

「桜本の地に集える場を」と建設を市に働きかけ、館がオープンしてからは職員として、90年からは館長として「ふれあい館」とともに歩んだ裴重度さんにお話を伺いました。

開館以来、地元の人だけでなく、遠方から行政関係者や学者、学生、市民グループの方々など、実にたくさんの方が訪れています。マスコミの取材などもたくさんありました。

来館者の多くはこの館が国際交流施設だと思って来るようです。たしかにそうした一面はあります。でもこの館が最も大事にしていることは、地域に住んでいる、こどもも高齢者も、男も女も、障害のある人もない人も、日本人も外国人も、すべての人が「出会い、ふれあい、学び合う場」ということです。

「ふれあい館」の名前はノーマライゼーションからの発想です。「ふれあい」の「あい」と読む漢字はいろいろありますね。例えば、会・合・遭・敢・和・饗…など。「ふれあい」にはそれらの漢字が持つすべての意味が込められているんです。

この12年間、地域のニーズとして持ちあがって来たものをどう事業化するか、に心をくわいてきました。今、介護保険に対応する高齢者相談事業を始めたばかりです。

この館の職員は現在、日本人と在日の人が半々です。うれしいことに、この地生まれでこの地育ちの若い職員が増えました。彼らは地域の人と一緒に、いっそう「ふれあい館」を支えてくれることでしょう。

「ふれあい館」はこんなところ

「ふれあい館」は社会教育施設としての「川崎市ふれあい館」と児童館としての「川崎市桜本こども文化センター」の二つの機能を持つ統合合築施設です。鉄筋コンクリート二階建て、延べ床面積630平方メートル。一階には在日韓国・朝鮮人に関する蔵書4千冊を備える資料室のほかに会議室、クラブ室があります。二階には、防音を施し音楽や舞踊の練習ができる文化交流室、学習室、ホールなどがあります。「ふれあい館」では、こどもの遊びの指導や行事の企画・運営、識字学級をはじめとする各種講座、学校連携事業や高齢者相談事業、貸し館事業など多彩な活動を行っています。

◆所在地 川崎区桜本1-5-6 ☎(276)4800

在日高齢者がくつろぐ「トラヂの会」

マイク片手に歌う人、手作業に熱中する人、タバコをくゆらしおしゃべりする人など、昼食後の時間を思い思いに過ごしているお年寄りたち。

「トラヂの会」は識字学級に通った在日韓国・朝鮮人一世の高齢者が集う「場」です。98年にできたこの会には現在120人が登録しています。毎週水曜に桜本小学校付属幼稚園の一室で開く会には約60人が参加。昼食を共にし、体操や歌・ゲームなどでひとときを過ごします。時には遠足や宿泊旅行も企画され、会員には大好評です。

昼食づくりは近所に住む主婦ボランティアが担っています。メニューは韓国・朝鮮の家庭料理が主で、みんなここでの昼食を楽しみにしているそうです。

参加者の金本豊子さんは「この会ができて水曜日が楽



しみです。困ったことがあると職員の人が相談にのってくれるのでとても心強いです」。

職員の三浦知人さんは「日本の経済発展を支えた在日一世は、年金制度から取り残され、生活に不安を抱えています。安心して暮らせる支援を進めたい」と語ります。

韓国・朝鮮の文化を紹介する出張授業



ふれあい館では数年前から、学校に韓国・朝鮮の文化を紹介する「学校連携事業」をはじめました。職員やボランティアが小学校に出向き文化や遊びを教える出張授業や、中学校の部活動で民族楽器を教える講師派遣などを行っています。依頼先は近隣の学校が主でしたが、最近では川崎北部へ行くこともあり、広がりを見せています。

10月中旬、東大島小学校（弦巻輝臣校長）で4年生を対象に行われた出張授業の様子を見せていただきました。

この日の講師役は5人。約80人の児童を前に「アンニョン」とにこやかにあいさつ。子どもたちは「ことば」「遊び」「創作活動」「音楽」の四つのグループに分かれ体験学習をしました。

「遊び」のグループでは「ユンノリ」という、日本のすごろくに似たゲームや、紙で作った花を蹴る「チェギチャギ」で盛り上がっていました。

「音楽」を選んだ子どもたちは、犬の皮を張った太鼓「チャンゴ」の実習=写真。真剣な表情で講師の手元を

見つめています。パチの持ち方とリズムの取り方を教わると、力強くチャンゴをたたき、「そうそう、その調子」の声に笑みがこぼれていました。

活動を支えるボランティア

ふれあい館では、講座や行事ごとにボランティアを募り、活動は職員とボランティアで行っています。

最近、特に目立ったのは、夏に丹沢湖畔で行われた「ふれあいキャンプ」の若手ボランティアの増加です。小学生から大人まで毎年100人前後の人が参



大活躍のボランティア（今年のキャンプ 提供写真）

加するこのキャンプでは、在日三世の子どもが多いので、コリアン文化の導入や障害者との共同生活を柱としているそうです。今年は「子どもの時参加した」という高校生や青年期の障害者がボランティアとして参加し、子どもたちの生活をサポート。青年ボランティアは子どもたちに大人気だったそうです。

引率した職員は「青年たちが地域の子どもたちに愛情豊かに関わる流れができたことは、世代をつなぐかけがえのない財産」と話していました。

●まなぶ●

かわさき市民アカデミー韓国研修旅行
見て 触れて 味わって 知る

民俗村を見学する一行

かわさき市民アカデミー受講生及び事務局職員36人が9月25日から28日まで3泊4日の日程で、韓国研修旅行を行いました。

研修団は、川崎市の友好都市である富川（プチョン）市の市庁舎を見学、行政が市民に開かれていると感じました。富川市はソウル市と隣接したベッドタウンとして発展した新興都市で、川崎市と交流が行われています。

二日目は、伝統的な生活を再現した民俗村や焼物の里「利川（イチョン）」を訪れ、韓国固有の芸術と温泉を満喫しました。

三日目は、ソウルへと移動し、朝鮮時代の宮殿の見学や、南大門市場で庶民生活の息吹を垣間見たりしました。

最終日、空港へ行く前に南北分断を実感できる統一展望台に寄りました。川の向こうに朝鮮民主主義人民共和国が一望でき、参加者たちは少し緊張した表情で眺めたり、写真を撮ったりしました。

この研修の参加者から次のような句をいただきました。
「キムチの国空高く民俗村の唐がらし」 宮崎利恵さん
「南北の心ひとつに秋の空」 佐藤正和さん

市内で活動の文化団体に **ホールを無料開放**

財川崎市生涯学習振興事業団では、文化・芸術活動の振興をはかるため、おもに川崎市内で活動する文化団体・グループに、新百合21ビルの「トゥエンティワンホール」（小田急新百合ヶ丘駅から徒歩2分）とその付帯設備を無料で開放・貸し出します。ジャンルは、音楽・舞踊（ダンス）・演劇・映像などです。

貸し出し月／団体数

2001年8月／2団体（多数の場合は抽選）

受け付け締め切り

12月22日（金）まで

問い合わせ 学習事業室 ☎044(431)1051

生涯学習ア

●たのしむ●

大人のための健康づくりスポーツ
ゴルフ・テニス教室を開催

厳しい寒さに負けない体力づくりを目指し、楽しみながら学べるゴルフ・テニス教室を開催します。初心者から中級者まで、皆様の参加をお待ちしています。

◆丸子橋ゴルフ教室（場所：丸子橋ゴルフ練習場）

月曜コース 1月15日～3月12日10時から 全8回

金曜コース 1月19日～3月9日10時から 全8回

受講料…各21000円 定員…各15人

◆等々力テニス教室（場所：等々力テニスコート）

1月19日～3月23日の毎週金曜 全10回

初級…9時30分から／中級…11時30分から

受講料（教材費込み）…11000円 定員…各18人

◆津田山テニス教室（場所：スノーヴァ溝の口）

1月15日～3月5日の毎週月曜 全8回

初級…9時から／中級…①10時45分②12時30分

受講料（教材費込み）…14700円 定員…各20人

申し込みは、1月5日（金）必着で、往復はがきに教室名、コース名、初級・中級の別、住所、氏名、年齢、電話番号を記し、下記あてにお送りください。

〒211-0052 中原区等々力1-3とどろきアリーナ内

財川崎市生涯学習振興事業団 スポーツ事業室

問い合わせ スポーツ事業室 ☎044(798)5348

●さがす●

情報がいっぱい 「電子掲示板」

市内42カ所に設置されている利用者端末「ふれあいネット」には、施設情報、見学情報などがたくさん入っていますが、その中に、これらの分類とはちょっと違った「電子掲示板」という項目があります。「電子掲示板」を開いてみると、音楽、美術、語学、文化・文芸、スポーツ・レクリエーション、生活・趣味、井戸端会議、その他の8つの分野に、催し物、講習会、健康診断の日程など、みなさんの生活や学習に役立つ情報がたくさん入っています。

また、みなさんが住んでいる地域、活動している団体・グループからいろいろな情報を提供していただいて「電子掲示板」に載せることもできます。

「電子掲示板」に掲載を希望される方は、600字以内の内容・連絡先・住所・氏名・電話番号などを明記して、学習情報室あてにお送りください。ファックスでも結構です。

問い合わせ 学習情報室

☎044(233)6250/FAX 044(233)2700

ラ・カルト

●はぐくむ●

冬の八ヶ岳でスキーを楽しもう

初冠雪からカラマツの落葉を過ぎると、いよいよ八ヶ岳は、冬の装いを一気に増してきます。寒さの厳しい冬の富士見高原ですが、晴れ渡った日に町から眺める八ヶ岳の山々は、まぶしいばかりの輝きを見せながら、どこか町全体を明るい雰囲気にしてくれるものがあります。

夏には多くの人たちが訪れる川崎市八ヶ岳少年自然の家ですが、冬の魅力も見逃せません。冬は何といってもスキー、スノーボードのウインタースポーツです。富士見町には二つのスキー場があり、12月8日には「富士見パノラマスキー場」が、21日には「富士見高原スキー場」がそれぞれオープンし、首都圏から大勢の人たちが集まり、町は活気あふれる時期を迎えます。



川崎市八ヶ岳少年自然の家では、今年も下記の通り「八ヶ岳親子スキー」を実施いたします。ご家族で雄大な八ヶ岳の裾野で、思いっきりスキーを楽しみませんか。

日 程 平成13年2月23日(金)～25日(日) 2泊3日
 出発は23日19時頃、帰着は25日17時頃
 往復バス。集合・解散場所は南武線谷保駅

会 場 富士見パノラマスキー場

宿 泊 川崎市八ヶ岳少年自然の家

対 象 市内在住・在学の小学3年から中学生までの児童・生徒とその保護者

定 員 50人(抽選)

費 用 約17000円(バス・食事・レッスン代含む)

申し込み 平成13年1月5日(金)～25日(木)までに、往復はがきに郵便番号、住所、参加者全員の氏名、年齢、性別、電話番号を記し、下記あてにお送りください。

〒399-0101
 長野県諏訪郡富士見町境字広原12067-482

問い合わせ 川崎市八ヶ岳少年自然の家 ☎0266(66)2011

ハート & ハーモニー Vol.7

スポーツが楽しめない心理^{わけ}

「強い自分」という言葉を精神医学者の野田正彰氏がある講演で使いました。ありふれた表現なのですが大変印象的で、「拒食症の人が、食べないことに『強い自分』を求め、食べた後に自己嫌悪になって食べたものを吐いてしまう…」でしたが、この話にスポーツですぐ「頑張れ」と言いたがる日本の国民性をダブらせてしまいました。ここにスポーツが楽しめない心理を見つけたと感じたからです。

1970年代末にアメリカでも日本でもマラソームが起きました。フルマラソン(42.195km)を目標にランニングをする姿は、「タイムは関係ない」と言っても、達成感に「強い自分」を求める姿に変わりはありません。根底にはどちらも健康志向があるとされているが、現在ではアメリカではフルマラソンよりテンK(10km)が盛んで、健康志向ならこれで十分という事です。日本ではウルトラマラソンが花盛りで、「自分との戦い」が続いています。ウルトラマラソンを「共走」と呼び、楽しさを幾ら強調しても「達成感」を求めている限り、「弱い自分」を気にしないで、本心からスポーツの楽しみに浸ることにはならないのではないのでしょうか？

球技系のスポーツでは、基本的な技術を納得が行くまで習得することが必要ですが、基本的な練習は単調でつまらないと思われているようです。ゲーム形式はスポーツの楽しみの大きな部分を占めていますが、上手下手の序列を否応なしに付けることにもつながります。技術を習得する楽しみや少しずつでも上達する楽しみを味わわないままに、グループの序列の中に組み込まれてしまうことに抵抗を感じる人も多いはずで。

スポーツを「遊び=なくてもよいもの」と考えることも、この傾向を助長しているように感じます。スポーツが基本的人権であれば、オリンピックに自分たちの代表を送ることは地域の誇りであるはずですが、スポーツが只の遊びなら「弱い代表」は恥であるから出場しなくてもよいと言いたくなるのです。景気のいい時にはスポーツにお金を出しても、節約するときには最初にやめてしまうのも只の遊びなら当たり前の心理です。

強い弱いや景気の善し悪しなど関係のない、自分自身の楽しみと身体との対話としてのスポーツは、社会、精神、心理、身体の健康を本気で考えれば最後に残るものの一つではないのでしょうか？

(健康教育担当 スポーツドクター 野田晴彦)

ぐるーぷBOX

武道スポーツを楽しむ

「麻生スポチャンクラブ」

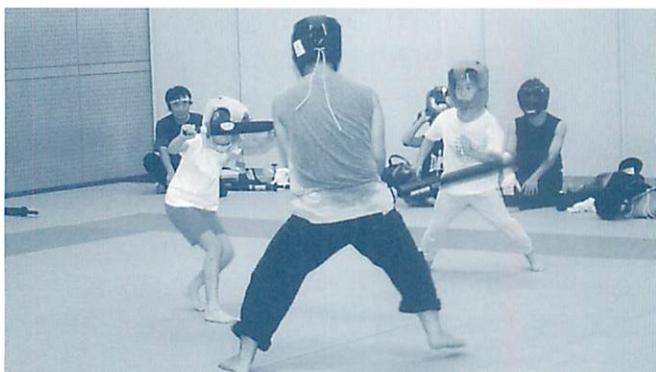
「ピシッ!」「パシッ!」武道室に響く鋭い音。防具を付け、子どもと大人と一緒にスポーツチャンバラの練習をしているのは、「麻生スポチャンクラブ」(村上哲夫代表、会員18人、1996年発足)です。

スポーツチャンバラは、簡単な防具と自由な規則で戦えるようにと29年前に考案された「小太刀護身道」を前身とする武道スポーツです。空気の入ったエア棒で打ち合い、体のどこかを先に打たれたら負け、というルールです。エア棒は柔らかい素材でできているので打たれても安全ですが、スピードとタイミングが命のスポーツなので、見ていても迫力満点です。また、男女・年齢を問わず競技できるのも魅力の一つで、同クラブの会員も小学生から50代まで、世代を越えて楽しんでいます。

この日は、基本的な型や一对一の対戦練習のほかに、護身術として実践に役立つ、少人数対多数の「乱戦」、一人が勝ち残るまで戦う「サバイバル戦」などの練習に汗を流していました。

会員の声「始めて半年ですが、人の気配に敏感になりました。姿勢も良くなったと言われます」。

- ◆活動日：第1・3・5土曜、14時から
- ◆場 所：麻生スポーツセンター
- ◆連絡先：☎(989)5755の村上さん



パソコンでこつこつ点訳する

「ぶれいる」

「ぶれいる」(今村恵子代表、会員12人)は、視覚障害者のために、本や情報誌、携帯電話の説明書などを点訳する会です。「細く長く」を合言葉に、30代から80代のメンバーは、原稿を手分けして持ちかえり、自宅のパソコンで点訳し、データを利用者に送っています。「ぶれいる」とは英語で点字という意味だそうです。

会の誕生は1988年。幸市民館主催の成人学校「点字入門講座」の受講者で発足しました。当初は簡易点字器を使っていた作業でしたが、91年にパソコンメーカーから寄付されたのを機にパソコンで点訳するようになりました。

最近では点訳のほかに、小学校からの依頼を受け4年生を対象に「点字講習会」を行うなど、活動の幅を広げています。伺ったこの日も、学校での授業の進め方や教材について意見を交わしていました。今村代表は「子どもを飽きさせないよう毎回工夫しています。教える私たちにとっても勉強になります」と笑顔で話していました。

会員の声「少しでも社会に役立つことをしたいと思い、はじめました。学校で点字を教えた後に、子どもたちから寄せられる感想がとても励みになります」。

- ◆活動日：打ち合わせは月2回。10時から
- ◆場 所：幸市民館
- ◆連絡先：☎(511)3091の今村さん



情報コーナー イベントパーク 講座・コンサート他

●黒川のもちつきで20世紀のしめくくり

12月23日(祝)10時～14時、黒川青少年野外活動センター。雨天決行。もちつきやしめ飾り作りなど。300円。先着200人。☎12月1日(金)より☎(986)2511。

●東芝科学館冬休みイベント

①手作りキャンドルに挑戦②ヒットペット大会

①は12月22日(金)13時半と23日(土)10時と13時半。定員各50人。300円。②は12月27日(水)10時と13時半。

無料。当日直接。☎①のみ☎(549)2200。

●岡上女性学級

平成13年1月12日～3月16日の金曜10時から、全10回。岡上分館で。講師は小島裕子・和光大学講師他。定員20人。無料。有料保育あり。☎平成13年1月5日(金)から☎(988)0268。

●黒川こども写真教室～友達を作ろう!自然を撮ろう!

平成13年1月28日、2月18日、3月11日の日曜10時～

15時と3月25日(日)26日(月)の1泊2日、全4回。黒川青少年野外活動センターで。小学4～中学生30人、抽選。4000円。往復はがきに〒、住所、氏名、性別、学校名・学年、カメラの機種、TEL、保護者名を記し〒215-0035麻生区黒川313-9、同センター。☎(986)2511。

●点字基礎講座～視覚障害者を理解する

平成13年1月22日～3月5日の毎月曜10時から、全6回。場所は川崎授産学園。定員25人、抽選。テキスト代800円。12月11日(月)から1月9日(火)までに、はがきに住所、氏名、TELを記し、〒215-0001麻生区細山1209、同園・点字基礎講座係。☎(954)5011。

●母親クラブ講座～理想の教育とは？

12月8日(金)10時から。場所は平こども文化センター。講師は教育評論家の村田栄一さん。受講料1000円。有料保育あり。☎(865)8056の堀内さん。

●初心者の「きものリフォーム」講座

12月11日(月)10時と13日(水)13時半、全2回。場所は登戸ドレスメーカー学院。1回の受講も可。袖や小紋を日常着や小物にする。受講料各回1000円。先着15人。☎午前中に☎(911)2221。

●玉川大学公開講座～スポーツ救急法

12月16日(土)の13時半と17日(日)9時から、全2回。受講料25000円。定員16人。☎☎042(739)8895の同大継続学習センター。

●高津・市民合唱団創立10周年記念公演

12月19日(火)19時開演、洗足学園前田ホール。ベートーヴェン「交響曲第九番合唱付き」。秋山和慶指揮、東京交響楽団の演奏。合唱は同団と高津第九を歌う会。全自由席3000円。☎☎(811)8256の高橋さん。

●親子で楽しむクリスマスコンサート

12月23日(祝)14時開演、東芝科学館。演奏は東芝ライオンジャズオーケストラ。無料。先着250人。☎☎(549)2200。

●演奏会①ブリティッシュ・プラス

②打楽器アンサンブル③アカデミー室内オーケストラ
会場は洗足学園前田ホール。①は12月13日(水)。曲目はP・スパーク「オリエント急行」他。②は12月14日(木)。チャイコフスキー「くるみ割り人形」他。③は12月15日(金)。グリーグ「ホルベルク組曲」他。開演は各18時半。各1000円。☎☎(856)2981の同学園大学演奏部。

●ランチタイムコンサート

12月20日(水)12時15分開演、市役所第3庁舎ロビー。ジャズの演奏。出演は金井英人(ベース)、飯沼五洋(ピアノ)、マリア・エヴァ(ボーカル)。クリスマスソング他。無料。☎☎(222)8821の文化財団。

●白岡順写真展～秋の日

平成13年2月4日(日)まで、川崎市市民ミュージアム。白岡順のモノクロ写真、初期から新作まで約100点を展示。一般300円、小～大生100円。☎☎(754)4500。

いま地域で学校で

文化祭に地域の専門家を招く 宮内中学校「ふれあい体験教室」

10月は川崎市内の多くの中学校で文化祭が開催され、中学生たちが一年間積み上げてきた手芸・絵画などの技術・文化作品展や、合唱・吹奏楽・弁論・演劇などの発表会が行われました。

中原区の宮内中学校(大久保忠校長、生徒数427人)の文化祭では、昨年からの地域の方を講師に招き、「ふれあい体験教室」を行っています。「生徒たちにいろいろな体験をさせたい」と学校・PTAが地元町会に呼びかけ始めました。



今年には「手話」「竹細工」「手打ちそば」「手編み」「マジック」など17コースが設定され、生徒たちは希望のコースに分かれて学習しました。建築家志望コースでは、地元建築家の奥山正夫さんの指導で「製図・自分の家」に取り組みました＝写真。女生徒の一人は「こんなことはめったに出来ないのに建築コースを選びました」と真剣なまなざし。自宅を図にするのに四苦八苦している生徒に、奥山さんは「自分が玄関に立っていると想定して描いてみよう。玄関の左がトイレ、右が居間というように…」とアドバイスしていました。

大久保校長は「体験を終えた子どもたちの表情がとてもよかった。この体験を今後の総合的な学習に生かしたい」と話していました。

●ヘルシー料理研究会会員募集

毎月第2火曜日13時半から宮前市民館で活動しています。講師は料理研究家の百武美智子さん。入会金1000円、半年会費7000円。☎☎(888)0764の石井さん。

●麻生合唱団団員募集

来年の6月23日の演奏会で「カルミナ・ブラーナ」を演奏します。練習は毎土曜18時半から、新百合ヶ丘駅から徒歩10分の青葉幼稚園で。入会金1000円、月会費一般3000円、学生2000円。☎☎(986)9144の鈴木さん。

くらし百景 ステージ・アップ 俳壇

ななかまど句会

木枯らしや駆け抜けて行く塾帰り
 夕べの雨たたへまばゆし刈田かな
 冬枯れの古代を起こす移植鏡
 何着ても似合ふ浅草小春風
 小春日や野生馬光る都井岬
 友の通夜おでんの辛子鼻をつく
 襟巻に安堵を包む医者帰り
 夕ぐれて旅のほひのこぼれ萩
 暮れはやし思郷ふつつ観覧車
 風の吹きぬけしあと槍穂高
 枯蓮や月日の果てのいさぎよさ
 煌々と師走の月が蹤いてくる
 村の店老婆一人の夜寒かな
 鰐口の寺の小春をゆらしけり
 耳掻きの綿毛転びし冬うらら
 冬晴れの箱根古道を妻と往く
 山茶花を一片乗せて乳母車
 芋の露上総の山は高からず
 熱燗を妻にも飲めと巻舌で
 教え子と語らふ夕べ温め酒
 びっしりと少女の手帳クリスマス

青木 信雄
 池之上 輝夫
 金子 幸世
 久保村正一郎
 小磯 ヒサ子
 五島 正典
 近藤 みよ
 坂谷 久子
 佐藤 透
 澤 英一郎
 篠田 秀夫
 白井 文雄
 菅沼 淑子
 中村 不二江
 諾浦 静子
 星野 仁
 松本 アキ
 松本 美代子
 横川 郁子
 吉川 春子
 渡辺 春子

※ななかまど句会は、退職した仲間が毎月一回集まって句会を開き、相互に批評をしあい研鑽を積んでいます。特定の講師や結社を招くことなく自由に意見を述べ、「ぼけ防止・生涯学習」に取り組んでいます。

代表 澤 英一郎

まち・ひと・多面体

美しい音色で地域と交流する
 「ろうきん音楽を楽しむ会」



神奈川県労働金庫新百合丘支店（稲垣聡支店長）では、新住民が多い麻生区白山で音楽を通じて地域の交流を深めようと、1996年から「ろうきん音楽を楽しむ会」を開いてきました。地元で活動する音楽グループや学校の合唱部などに参加を呼びかけ、白山小学校体育館を会場に行われるこの会は、普段着でクラシック音楽や合唱を楽しめる音楽会として人々に親しまれています。

10月に行われた今年の「楽しむ会」には300人近くの人々が集まり、美しい旋律に耳を傾けました。出演は白山小・中学校卒業の音大生を中心に結成された室内楽グループ「フレッシュアンサンブルかわさき」、「麻生童謡をうたう会」、白山老人いこいの家に集う「白ゆりコーラス」、そして「白山中学校合唱部」。さまざまな年代の人が参加してのなごやかな音楽会となりました。

「白ゆりコーラス」は本格的な合唱曲数曲を披露。「麻生童謡をうたう会」は「夕やけこやけ」や「里の秋」などを歌って郷愁をさそいました。また、「フレッシュアンサンブルかわさき」は、映画音楽メドレーやカザルス

の「鳥の歌」、ブラームスの三重奏などを演奏。目の前で奏でられるチェロやビオラ、ピアノの迫力ある響きに大きな拍手がわきました。

白山中学校合唱部員は「地域の方に聴いてもらってはりが出ます」。「白ゆりコーラス」の一人は「地元の皆さん、特に子ども達に聴いてもらえるのがうれしい」と笑顔。また「フレッシュアンサンブルかわさき」のメンバーは「自分だけの音楽にしないで、地域の中で活動してゆける音楽家を目指しています」と抱負を語りました。

◆ステージ・アップ編集事務所が一時移転しています◆
 ご意見・ご感想、学習・文化情報はこちらにお寄せ下さい。
 〒211-0052 中原区等々力1-3 とどろきアリーナ内
 ☎044(798)5311 (直通) / FAX 044(798)5005